

2011年10月28日

大阪大学副学長兼教育研究担当理事
東島 清 殿

大阪大学箕面地区教職員組合執行委員長
岡本 真理



外国語学部非常勤講師および学生への説明会開催を求めます

来年度以降の非常勤予算について、東島理事はみずからの「3年後にゼロ化」案を撤回し、外国語学部教授会が承認した元の案(4年後に24%まで削減)を受け入れました。

しかし、これ自体は削減であることに変わりありません。

私たち外国語学部の教員はみずから望んで非常勤講師を断り、授業を減らすものではありません。大学からの再三の強い要請を受けて、どうすれば学生の教育の低下を最大限に防げるか苦慮した末の削減計画を提案したものです。

非常勤講師のみなさんにたいし、今後の雇用はどうなるのか、学部学生のみなさんにたいし、学部教育は今後どのように変わるのか、いまだ、何の説明もされていません。さまざまな情報に不安をかきたてられたまま放置されています。

本学教育の最高責任者である教育研究担当理事は、非常勤講師と学生にたいし、来年度以降の雇用と教育のあり方を、みずからきちんと説明する責任があると考えます。早急に、非常勤講師と学生を対象にした正式な説明会を開催することを、強く求めます。